



# 今後の剣道活動 に向けて

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策

令和2年 6月30日制定

令和2年 9月18日改訂

令和2年12月22日改訂

令和3年 4月15日改訂

一般財団法人愛知県剣道連盟

## 愛剣連ガイドラインの目的

- ✓ 新型コロナウイルス感染症の感染源とならない
- ✓ 他の人にうつさない
- ✓ 他の人からうつされない



## ステップ1 【稽古を始める前に】 1/7

～次のことが当てはまる人は稽古に参加できません～

- **体温が37.5度以上**ある人
- 一週間以内に咳、鼻水、頭痛、のどの痛みなど**風邪の症状**のある人
- **同居家族や身近な知人に感染者、または感染の疑い**のある方がいる人
- 過去14日以内に渡航歴のある人や感染流行地域を訪れた人



高齢者の稽古再開は慎重に実施する。特に60歳以上で基礎疾患のある方は主治医と相談のうえ、慎重に判断する。

※基礎疾患のある人…糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患、透析を受けている人、抗がん剤などを用いている人



～稽古に出かける前に～

- **必ずマスクを着用**する。マスクは替えを用意して、稽古後に取り替える。
- **着替えはなるべく自宅**で行い、剣道着、袴を着て稽古に出かける。
- 水筒、ビニール袋（巾着袋など）、タオルを必ず持参する。

## ステップ1 【稽古を始める前に】 2/7

～道場に着いたら～

できれば入場する人の検温を実施するとよい。



### 【保護者】

- 保護者は送迎のみとする。やむなく見学する方は、**手指の消毒**をして入場し、**2m以上の間隔**を取る。入場する保護者も必ずマスクを着用し、私語は慎む。発熱している保護者の入場は厳禁とする。

### 【稽古に参加する人】

- 道場に着いたら、まず**手指をアルコール消毒**する。できれば足の裏も除菌用ウェットティッシュで拭く。ごみはビニール袋に入れ密封する。
- ノートに名前と連絡先を記入**する。
- 更衣室を使用する時は少人数で交代して使う。おしゃべりをしない。



**手洗いは30秒以上      アルコール消毒は15秒**

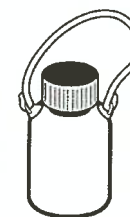
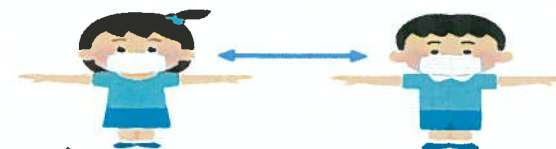
## ステップ1 【礼法】 3/7

- 正座や座礼を行ってもよいが、立礼だけでも構わない。
- 整列する時、**密にならないよう**に気を付ける。通常1列に並ぶなら、間隔を広げて2列にする。



## ステップ1 【トレーニング】 4/7

- 急激なトレーニングは避けて、**少しずつ**体を慣らしていく。
- 対面**するトレーニングは**行わない**。号令は代表者のみで、他の人は**声を出さない**。
- 移動しない時は2 m間隔、移動する時は2 m以上の間隔を保つ。
- 短時間で行い、**こまめに休憩**を入れて**水分補給**などを行う。
- 窓の開放且つ扇風機での通気を一方向のみで実施し、道場内を常に**換気**する。



**酸欠にならないように、3密でない所でマスクを外して休憩すること。**

## ステップ1 【素振り、打ち込み ※剣道具なし】 5/7

- 対面しない**。同一方向を向いて行う。
- 自分の竹刀のみを使用**する。他の人との貸し借りを絶対にしない。
- 号令は代表者のみで、他の人は**声を出さない**。前後左右、**2 m以上の間隔**を保つ。
- 多人数で同時に行わないように、グループ分けなどをして**少人数ずつ**で実施する。
- 短時間で行い、**こまめに休憩**を入れて**水分補給**などを行う。
- 窓の開放且つ扇風機での通気を一方向のみで実施し、道場内を常に**換気**する。



## ステップ1 【木刀による稽古】 6/7

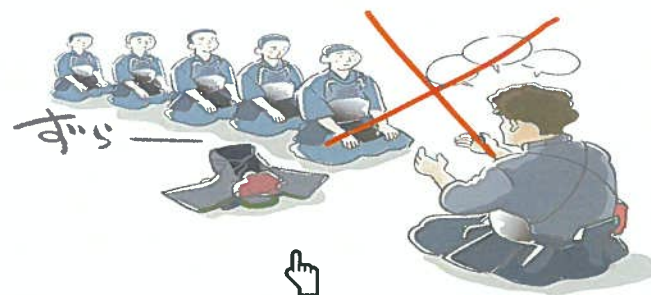
- 対面しない**。同一方向を向いて行う。  
(例) 同じ方向を向いて、全員が打太刀、または全員が仕太刀を行うなど。
- 自分の木刀のみを使用**する。他の人との貸し借りを絶対にしない。



酸欠にならないように、3密でない所でマスクを外して休憩すること。

## ステップ1 【稽古が終わったら】 7/7

- 稽古に使用したマスクを、持参した**替えのマスク**に取り替える。
- 手洗い**（30秒以上）、**手指のアルコール消毒**（15秒）を行う。できれば足の裏も除菌用ウェットティッシュで拭く。（ごみは必ずビニール袋などに入れ密封する。）
- 更衣室を使用する時は少人数で交代して使う。おしゃべりはしない。
- 道具類**は必ず**持ち帰り**、洗濯や除菌を行い、常に**清潔**を心がける。
- 道場内の使ったところ、触れたところを**消毒**する。



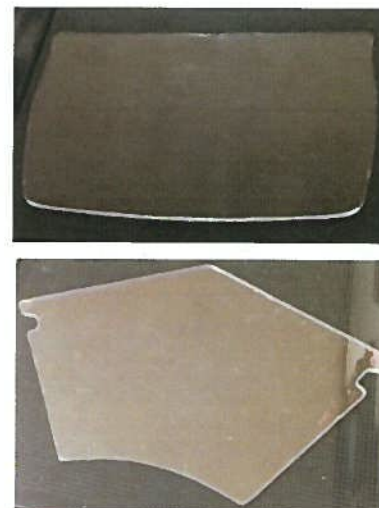
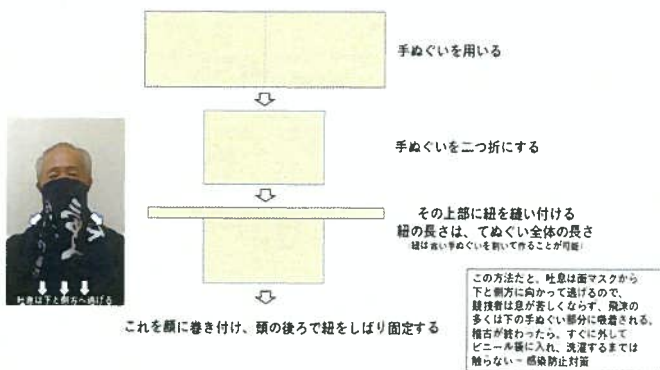
上位の者への座礼はできるだけ控えましょう

## ステップ2 【剣道具を着装した稽古】 1/4

通常に近い稽古（ただし1時間以内の短時間）

- 飛沫防止対策用の面を必ず使用する。面マスクとシールド(口)は必ず着用する。面マスクとは、顔に接して鼻と口を覆うもので、下の左の図は全剣連から提示された面マスクの一例。「面マスクを省略してシールドのみの使用」は全剣連から認められていません。

今回使用した「面マスク」の一例



飛沫予防  
コロナ対策に

34 × 284

高齢者の稽古再開は慎重に実施する。特に60歳以上で基礎疾患のある方は主治医と相談のうえ、くれぐれも慎重に判断すること。 ※基礎疾患のある人…糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患、透析を受けている人、抗がん剤などを用いている人



## ステップ2 【剣道具を着装した稽古】 2/4



※特に**子ども**の場合、長時間のマスク使用は危険なため、指導者は子どもの様子を注意して指導を行う。**こまめに休憩**を入れる。

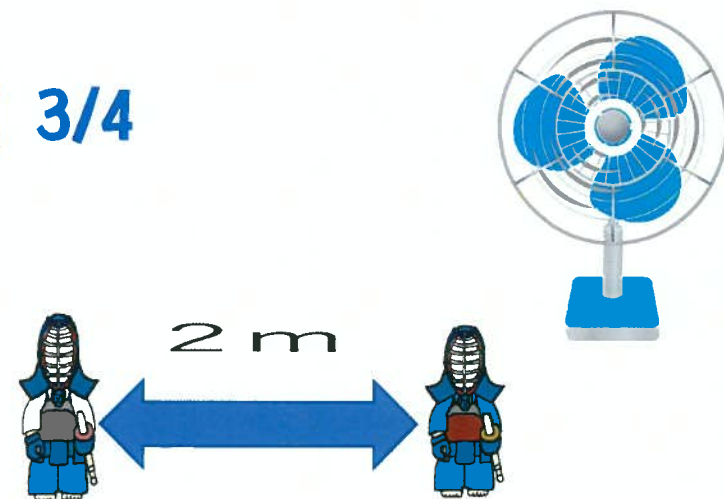
- 面マスクは必ず着用**する。スポーツマスクなどを使用してもよい。ただし、100%飛沫飛散を防げるものではないので、それぞれ工夫することが必要である。
- 面マスク**の着用については、酸欠にならないように**立体的に覆う**（マスクと口の間に少し空間を設ける）など、工夫することが大切である。
- 飛沫防止対策用の面を使用していないとの人との稽古は避ける。**  
※本来、飛沫防止対策（面マスク及びシールド）をしていない人の稽古は禁止である。
- 自分の面手拭のみを使用**する。他の人との貸し借りを絶対にしない。
- 稽古後、面マスクはビニール袋などに入れ密封して持ち帰る。  
持参した**替えの通常マスク**に取り替える。
- 保護者は送迎のみとする。やむなく見学する方は、手指の消毒をして入場し、2m以上の間隔を取る。入場する保護者も必ずマスクを着用し、私語は慎む。発熱や風邪症状がある保護者の入場は厳禁とする。



## ステップ2 【剣道具を着装した稽古】 3/4

### 稽古の心得 ①密閉を避ける

- 窓を開放し、扇風機での通気は一方向のみで実施し、道場内を常に**換気**する。



### 稽古の心得 ②密集をさける

- 元立ち**同士の横の間隔は**2 m以上**取り、立つ位置に目印のテープを貼っておく。
- 掛り手**は一箇所に**3人以上**並ばない。2 mの間隔を保つ。
- 多人数の場合は2部制など**グループごと**の稽古にすること。



### 稽古の心得 ③密接をさける

- 稽古中の発声はできるだけ抑える。
- 鍔ぜり合い**をしない。  
もし鍔ぜり合いになったら、お互いに**すぐに解消**する。
- できるだけ接触しないことを心がける。体当たりをしたら、すぐに技を出すこと。

## ステップ2 【剣道具を着装した稽古】 4/4

熱中症対策を充分に行う。

- 稽古の前にはコップ1～2杯の水分を摂取する。
- 道場の**温度と風通し**には充分に注意をする。窓を開放し、扇風機での通気は一方向のみで実施する。
- 15分～20分**ごとに**5分**程度の**休憩**を入れる。休憩の時は**3密でない状況下でマスクを外し、十分な水分を補給**する。水分補給はスポーツドリンクがよい。



万が一、熱中症になったら

- ①直ちに**涼しい**ところに運び、剣道具を外し袴の**紐をゆるめ**、**頭を低くして寝かせる**。
- ②**首の周囲や脇、太ももの付け根**などを、氷を包んだタオルなどで**冷やす**。
- ③**水分補給**をスポーツドリンクまたは経口補水液で行う。
- ④高熱があって、**意識が朦朧**としたり**意識がない**ときは、体を冷やしながら**直ちに救急車を呼ぶ**。



図1 熱中症を疑ったときには何をすべきか

## 熱中症の応急処置

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら、落ち着いて、状況を確かめて対応しましょう。適切な判断が肝心です。

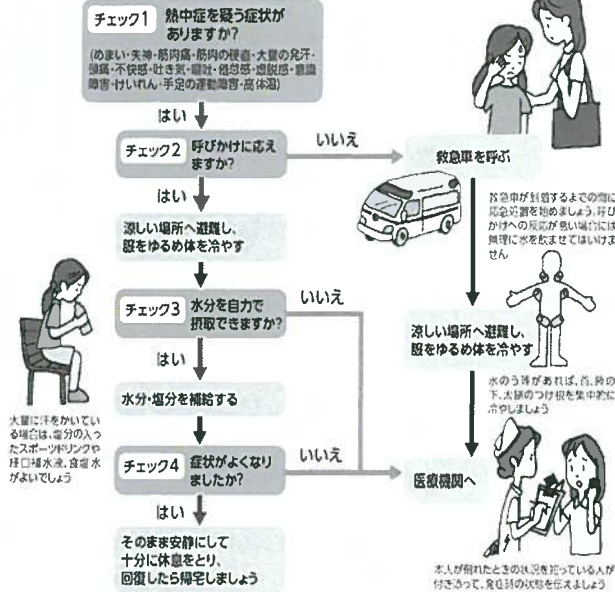


図2 熱中症の症状と重症度分類

分類	症状	症状から見た診断	重症度
Ⅰ度	めまい・失神 「立ちくらみ」という状態で、頭への血流が瞬間的に不足になったことを示し、熱失神と呼ばれることもあります。	熱失神	軽度
	筋肉痛・筋肉の硬直 筋肉の「こむら返り」のことで、その部分の痛みを伴います。発汗に伴う塩分(ナトリウム等)の欠乏により生じます。 手足のしびれ・気分の不快	熱けいれん	
Ⅱ度	頭痛・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感 体がぐったりする、力が入らない等があり、いつもと様子が変わる程度のこく軽い意識障害を認めることがあります。	熱疲労	軽度
Ⅲ度	Ⅱ度の症状に加え、意識障害・けいれん・手足の運動障害 呼びかけや刺激への反応がおかしい、体にガクガクとびきりけがある(全身のけいれん)、直ぐ走れない歩けない等。 高体温 体に触ると熱いという感触です。 肝機能異常、腎機能障害、血液凝固障害 これらは、医療機関での採血により判別します。	熱射病	重症

(日本救急医学会分科会より)

図3 熱中症予防のための運動指標

WBGT	湿球温度	乾球温度	運動は原則中止	WBGT31℃以上では、特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
-31	-27	-35	厳重警戒 (激しい運動は中止)	WBGT28℃以上では、熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。運動する場合には、頻繁に休息をとり、水分・塩分の補給を行う。体力の低い人、暑さに慣れていない人は運動中止。
-28	-24	-31	警戒 (積極的に休息)	WBGT25℃以上では、熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり、適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休息をとる。
-25	-21	-28	注意 (積極的に水分補給)	WBGT21℃以上では、熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
-21	-18	-24	ほぼ安全 (適宜水分補給)	WBGT21℃未満では、通常は熱中症の危険は小さいが、適宜、水分・塩分の補給が必要である。市町村マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので、注意。

WBGT (湿球黒球温度)  
屋外: WBGT = 0.7 × 湿球温度 + 0.2 × 黒球温度 + 0.1 × 乾球温度  
屋内: WBGT = 0.7 × 湿球温度 + 0.3 × 黒球温度

- 環境条件の評価はWBGTが望ましい。
- 湿球温度は気温が高いと過小評価される場合もあり、湿球温度を用いる場合には乾球温度も参考にする。
- 乾球温度を用いる場合には、湿度に注意。湿度が高ければ、1ランクきびしい環境条件の注意が必要。

※出典 図1 「熱中症環境保険マニュアル2018」環境省 図2 「熱中症診療ガイドライン2015」日本救急医学会 図3 スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック 日本スポーツ協会

## ステップ3 【通常稽古の開始】

「通常の稽古を実施してもよいか」については、新型コロナウイルス感染症の収束状況や全剣連からの通達などによる。

## ステップ4 【審査会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）】 1/6



本連盟主催審査会（級、初段～五段）に関しては「審査会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）」に基づいて実施しています。「3密回避」「人と人との距離を取ること」など新型コロナウイルス感染症への感染を防止することと、会員の皆様の目標の一つである審査会を万全な体制で実施することの二つを両立させることが目的です。

令和3年度は年間事業計画によって予定通り行うものとします。ただし感染状況によって中止または変更する場合がありますのでご了承ください。

会員の皆様におかれましては、感染状況によって、その都度稽古の内容を工夫しながら、来る受審に向けて備えていただきたいと存じます。

なお、「審査会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）」は今後の審査会実施状況や感染状況を踏まえて見直すことがありますのでご理解ご了承くださいますようお願い申し上げます。

## ステップ4 【審査会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）】 2/6

### 審査会要項（受審者募集）における確認事項

- 次のことが当てはまる人は**審査会に参加できない**。



審査会当日、会場入口前で検温を実施

- ◎ **体温が37.5度以上**ある人や一週間以内に咳、鼻水など**風邪症状**がある人
- ◎ 同居家族や身近な知人に感染者、または感染の疑いのある方がいる人
- ◎ 過去14日以内に渡航歴のある人や感染流行地域を訪れた人
- ◎ **基礎疾患のある人**

※基礎疾患のある人…糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患、透析を受けている人、抗がん剤などを用いている人

※基礎疾患のある人が理由あって参加する場合は、主治医の承認を得るものとする。



- 審査会に申込む人は、**自己の責任**において当日の審査会に参加するものとする。
- 過去に新型コロナウイルス感染歴のある方は、受審について医師と相談して決める。
- 保護者同伴で来場した場合、**受審者以外の方は審査会場のある施設内には入場できない**。基本的に**送迎のみ**とする。特別な理由で入場を認める場合でも、発熱や風邪症状がある方の入場は厳禁とする。（入場者は必ずマスク着用）
- 審査会当日の集合時刻について、要項を熟読して間違いのないように努める。
- 形講習会の開催については各地区剣道連盟にご確認ください。

## ステップ4 【審査会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）】 3/6

### 審査会当日の注意事項

※受審者は係員の誘導に従って行動してください。

- **着替えは原則自宅**で済ませておく。やむなく審査会場内の更衣室を利用する場合は密を避け、交代で使用する。
- 審査会に参加する時は**マスクを必ず着用**すること。（外出時から着用）
- **受審者確認票**を**必ず持参**すること。忘れると会場に入れない。
- 木刀が必要な場合は忘れずに携行する。審査において**自分の木刀を他の人に使わせない**。また他の人の木刀を使わない。
- 施設内に入場する者は全員必ずマスクを着用し、私語を慎むこと。
- 入場する時も含めて、常に**フィジカルディスタンス**（他の人との距離）を約2m（最低でも1m）確保する。
- **靴を入れる袋を持参**して、各自で靴の管理をすること。会場以外を裸足で移動しない。主催者が配布するビニール袋を靴入れとして使用する場合は、使用後ビニール袋を家まで持ち帰ること。会場内で捨てない。
- 審査前および審査後に**手洗い**、うがい、手指の**アルコール消毒**を行う。会場内に入場する時は、必ず**足の裏**も消毒液や除菌用ウェットティッシュで**消毒**すること。ごみはビニール袋に入れ密封し、自宅に持ち帰る。

審査者確認票

所属地区名

郵便番号

氏名

年齢

審査当日の体温

緊急時連絡先電話番号



## ステップ4 【審査会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）】 4/6

### 審査について

※形、実技ともに発声可。



#### 【形審査】

- 形審査において、受審者は必ずマスクを着用する。
  - 形講習会は基本的に実施しないので、受審者は事前にしっかりと形の稽古をしておくこと。
  - 自分の木刀を他の人に使わせない。また他の人の木刀を使わない。
- ※級審査会における「木刀による剣道基本技稽古法」では竹刀を使用するものとする。

#### 【実技審査】

- 飛沫防止対策用の面を必ず使用する。面マスク、シールド(口)を必ず着用する。
- 面マスクの着用については、酸欠にならないように立体的に覆う（マスクと口の間に少し空間を設ける）など工夫することが大切である。ただし、鼻と口を完全に覆うこと。
- 個人に合ったマスクを着用してください。
- 鏝ぜり合いにならないように心がける。もし鏝ぜり合いになったら、お互いにすぐに解消すること。

#### 【学科試験】

- 学科試験は課題に対するレポート提出とする。レポートはA4サイズ of 用紙（指定の用紙）で必ず手書きとする。鉛筆でもボールペンでも構いません。
- 課題は要項内で発表する。受審者は審査申込みと同時にレポートを提出する。





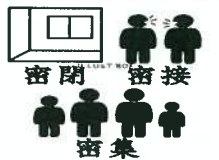
## ステップ4 【審査会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）】 5/6

### 運営上の留意事項①



- 各段の審査開始時刻は、時間的余裕をもって設定し、会場が密にならないように、**入場者を入れ替え制**にして運営すること。
- 形審査と実技審査を別日程にするか同一日程にするか、については各地区の判断で決定する。要項に明記して、受審者に周知徹底する。
- 審査会当日、審査員、役員、係員は必ずフェイスガード、マスクを着用する。
- 施設に入場する時に、申込者名簿により**入場者の検温**を実施する。
- 受付**で受審者が密集して並ばないように、**約2m間隔**で床にテープを貼って距離を保つようにする。
- 会場内の**入口と出口**を明確に分ける。出入口の数のある程度限定する。
- 施設内の数か所に**アルコール消毒液**を設置する。
- 人が触れる所（ドアノブなど）は**定期的**に**アルコール消毒**する。
- 受審者は**観覧席**を**控え場所**として使用する。観覧席が密にならないように、**一つ置き**に使用するようにする。
- 会場内の**室温、換気**には**充分注意**する。

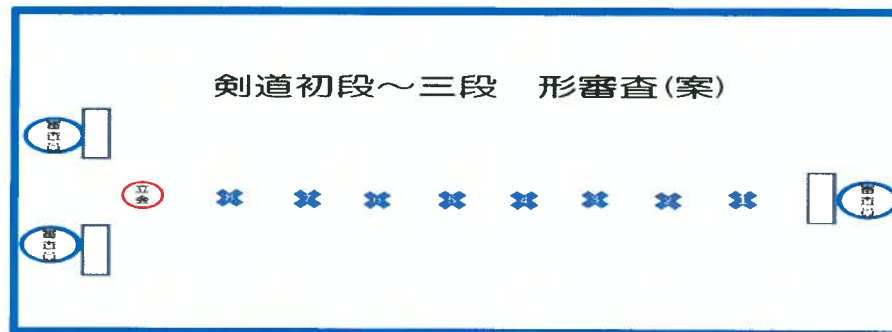
3密に注意!



## ステップ4 【審査会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）】 6/6

### 運営上の留意事項②

- 審査会には**必ず救護係（医療関係者）**を配置する。
- 更衣室前に係員を配置し、更衣室内が密にならないように誘導すること。
- 形審査は5組にこだわらず、組数を増やして全体を短時間で終わるようにする。  
8組～10組でも可。
- 実技審査において、会場数を増やして受審者の密集する待ち時間を短くする。
- 実技時間は、初段及び二段は30秒、三段は40秒**とする。
- 合格発表はまとめて実施するのではなく、人数を区切って何度も行う。  
目安として受審者30名以内で発表を行う。
- 合格発表は審査会場で行わず、別会場で行うこと。別会場が使用できない場合は外で行う。



※講習会もステップ4【審査会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）】に準じて開催する。

## ステップ5 【大会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）】 1/10

### 大会要項（参加者募集）における確認事項

- 次のことが当てはまる人は**大会に参加できない**。



大会当日、会場入口前で検温を実施

- ◎ **体温が37.5度以上**ある人や一週間以内に咳、鼻水など**風邪症状**がある人
- ◎ 同居家族や身近な知人に感染者または感染の疑いのある方がいる人
- ◎ 過去14日以内に渡航歴のある人や感染流行地域を訪れた人
- ◎ **基礎疾患のある人**

※基礎疾患のある人…糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患、透析を受けている人、抗がん剤などを用いている人

※基礎疾患のある人が理由あって参加する場合は、主治医の承認を得るものとする。

- 大会に申込む人は、**自己の責任**において当日の大会に参加するものとする。
- 過去に新型コロナウイルス感染歴のある方は、大会参加について医師と相談して決める。
- 大会参加者（選手、監督、大会役員・係員）以外の方の入場は、その**大会要項に定められた人数**に限る。制限人数内でも**発熱や風邪症状がある方**の入場は**厳禁**とする。（入場者はマスク着用）

## ステップ5 【大会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）】 2/10

### 大会当日の注意事項



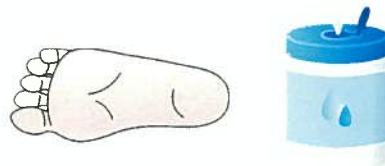
- **着替えは原則自宅**で済ませておく。やむなく大会会場内の更衣室を利用する場合は密を避け、交代で使用する。
- 大会に参加する時は**マスクを必ず着用**すること。（外出時から着用）マスクは複数枚持参することが望ましい。
- **靴を入れる袋を持参**して、各自で靴の管理をすること。会場以外を裸足で移動しない。主催者が配布するビニール袋を靴入れとして使用する場合は、使用後ビニール袋を必ず家まで持ち帰ること。会場内で捨てない。
- 参加する全ての人は**係員の誘導に従って**行動すること。
- 施設内に入場する者は全員必ずマスクを着用し、私語を慎むように心がける。
- 入場する時も含めて、常に**フィジカルディスタンス**（他の人との距離）を約2m（最低でも1m）確保する。試合会場へ入場する選手の人数制限を検討する。

距離を開けて  
お並びください



## ステップ5 【大会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）】 3/10

### 大会当日の注意事項



- **会場内に入る時は、必ず足の消毒**を行うこと。消毒液や除菌ティッシュなどは各自持参のものでも可。（主催者側も準備する。）  
ごみは必ず各自家まで持ち帰ること。
- 試合前および試合後に**手洗い**、うがい、手指の**アルコール消毒**を行う。
- **自分の剣道具および竹刀、面手拭などを他の人に使わせない。**  
また他の人の物を使わない。（忘れ物をしないこと。）
- ペットボトル、持参した物、**ごみは必ず持ち帰る**こと。  
会場内で捨てないこと。

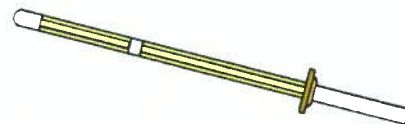


## ステップ5 【大会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）】 4/10



### 試合について

※**道具の貸し借りは禁止**



【選手、監督】

- 選手は試合において**面マスク及び口元を覆うシールドを必ず着用すること。**
- 面マスク**については、**鼻、口を覆うように装着**すること。ただし酸欠にならないようにマスクを**立体的に覆う**など、工夫することが大切である。
- 目印は必ず自分の物を使用。会場内外では**常にマスク**を着用する。
- 監督は声を出して指示を出さない。選手は声援をしない。応援は拍手のみとする。
- お互いに鍔ぜり合いにならない**ように試合を行う。もし鍔ぜり合いになったらすぐに分かれるか、接触後あるいは体当たりの後すぐに技を出す。※技の発声は可
- 試合が**終了**したら、すみやかに会場（施設）から**退出**する。
- 大会中に発熱したり**体調が悪くなった**時は、**棄権**してすぐに帰宅して経過観察する。
- 開会式では、選手整列を実施しない。
- 第1試合に出場する選手は、開始時刻の10分前には各試合場にて待機する。



## ステップ5 【大会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）】 5/10



### 試合について 【鍔ぜり合い】

- 試合者は**鍔ぜり合いを避ける**こと。接触した瞬間の引き技や体当たりからの技は認めますが、鍔ぜり合いになった瞬間に技が出ない場合は、**試合者自ら積極的に分かれてください**。
- 審判員の「分かれ」の宣告を待つのではなく、試合者双方で分かれる努力をしてください。
- 分かれる際は、**お互いの剣先が完全に触れない位置まで**下がること。
- 分かれる際は、**剣先を開いたり、下げて分かれ**ないこと。
- 分かれる際は、双方がバラバラに下がらない。同じ気位で互いの鎧を削るようにして分かれること。
- 分かれる途中に相手の竹刀を「叩いたり」「巻いたり」「逆交差」をしないこと。
- 分かれる際、**相手だけに下がらせて自分が下がらない行為は反則**です。
- **分かれる相手に対しての引き技は有効打突になりません**。
- 一方が分かれようとしている場合に追い込んで打突する行為や分かれようと思せかけて引き技を打突する行為は反則の対象です。
- **意図的な時間空費や防御姿勢(勝負の回避)による相手に接近する行為は反則**です。

## ステップ5 【大会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）】 6/10

### 試合について



#### 【審判員】

- 大会当日、**審判会議は実施**しない。事前に配布した打合せ資料を熟読して参加する。
- 審判員は当分の間、必ず**マスクを着用**して審判を行う。
- 自分用の審判旗**を持参する。大会本部の審判旗を使う場合は、使用前および使用後に必ずアルコール消毒すること。
- 新型コロナウイルス感染症が終息するまでは暫定的な **試合・審判法**にて試合を実施する。
- 試合時間を短縮**することも可。**延長戦は時間を区切って**行い、3回延長しても勝敗の決しない場合は**休憩**を取り入れる（水分補給可）。
- 試合終了後に当該試合の反省を行う場合は1m以上の間隔を空ける。



# ステップ5 【大会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）】 7/10

## 試合について

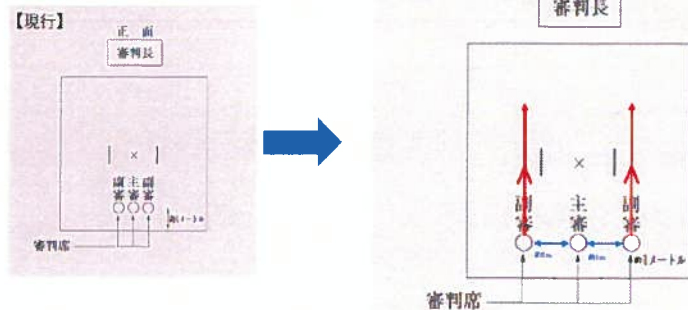
### 【審判員】

- 審判員の試合場への入退場は1m以上の間隔を空けて行い、副審は試合開始線の外側を通り定位置まで進む。合議は1m以上の間隔を空けて行う。

#### 【別添1】

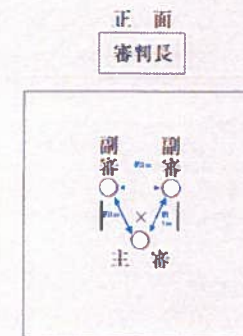
剣道試合・審判運営要領 p14 審判員の移動・交替要領

第1図 審判員の入場および整列



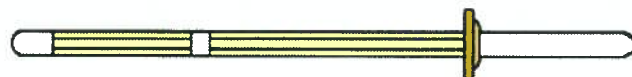
#### 【別添2】

審判員合議時の位置



## ステップ5 【大会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）】 8/10

### 試合について



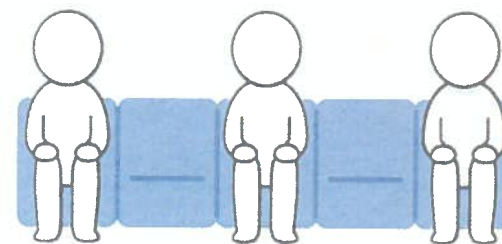
#### 【竹刀検査】

- 検査を受ける人はマスクを着用し、検査員はマスクと使い捨て手袋を着用すること。
- アクリル板等で検査員と検査を受ける人を仕切ること。
- 検査⇒退場のルートを一方通行にすること。
- 待機時に間隔を取ること。（床にテープを貼るなど位置を決めておく。）



#### 【観客】

- 観客は当該大会の要項等によって定められた人数に限定し、事前に氏名および連絡先を大会事務局に報告した人に限る。
- 観客席で見学をし、試合会場内には入らない。
- 応援は拍手のみとし、**声援は禁止**とする。
- 観客席で座る時は、必ず**隣と1席空けて**座る。



## ステップ5 【大会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）】 9/10

### 運営上の留意事項①



- 大会当日、係員は必ずフェイスガード、マスクを着用する。
- 施設に入場する時に、申込者名簿により**入場者の検温**を実施する。
- 大会参加者確認票**を必ず持参すること。忘れると会場に入れず。⇒
- 受付**で参加者が密集して並ばないように、**約2m間隔**で床にテープを貼って距離を保つようにする。
- 施設内の数か所に**アルコール消毒液**を設置する。  
各試合場にアルコール消毒液、ティッシュを設置する。
- 人が触れる所（ドアノブなど）は**定期的にアルコール消毒**する。
- 参加者は**観覧席を控え場所**として使用する。観覧席が密にならないように、**一つ置き**に使用するようにする。
- 会場内の**室温、換気**には**充分注意**する。

大会参加者確認票	
団体名	<input type="text"/>
氏名	<input type="text"/>
年齢	<input type="text"/>
大会当日の体温	<input type="text"/>
緊急時連絡先電話番号	<input type="text"/>



## ステップ5 【大会実施要領（新型コロナウイルス感染症対策）】 10/10

### 運営上の留意事項②

- 大会には必ず救護係（医療関係者）を配置する。
- 開会式および閉会式は、簡素化して短い時間で行う。  
特に開会式では密にならないように、当面の間「選手整列」は実施しない。
- 会場内の入口と出口を明確に分ける。出入口の数をある程度限定する。
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告をすること。



### 大会の中止について

～下記の場合は大会を中止する～

- ①全日本剣道連盟より大会中止の要請がある場合
- ②新型コロナウイルス感染症について愛知県が「感染拡大注意都道府県」に分類されている場合
- ③大会当日、午前6時時点で暴風警報発令中の場合



# ステップ6 【新しい生活様式】1/1

※厚生労働省ホームページより

## 「新しい生活様式」の実践例

### (1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）**空ける。
  - 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
  - 外出時や屋内でも会話をするとき、**人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する**。ただし、**夏場は、熱中症に十分注意する**。
  - 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。
  - 人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
  - 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に洗う**（手指消毒薬の使用も可）。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

### 移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、**誰とどこで会ったかをメモにする**。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

### (2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒**  咳エチケットの徹底
- こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に）  身体的距離の確保
- 「**密集**」の**回避（密集、密接、密閉）**
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



### (3) 日常生活の各場面別の生活様式

#### 買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて**素早く済ます**
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

#### 娯楽 スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは、十分に人との間隔を
- もししくは自宅で**動画を活用**
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは**距離をとるマナー**
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での**長居は無用**
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

#### 公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

#### 食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で**気持ちよく**
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく**横並びで座ろう**
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

#### イベント等への参加

- 接触確認アプリの活用を
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

### (4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務  時差通勤でゆったりと  オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン  対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成

令和2年6月30日  
令和2年12月22日改訂

令和2年9月18日改訂  
令和3年4月15日改訂

## 一般財団法人愛知県剣道連盟

〒453-0035 名古屋市中村区十王町11-22  
TEL052-481-0093 FAX052-481-0095



理事長	祝	要司
審査委員長	尾野	博之
大会委員長	大田	義弘
医療安全委員	大仲	良仁
〃	山田	英貴
〃	志津	匡人
事務局長	伊藤	国博

- 尾張 剣道連盟 〒491-0903 一宮市八幡4-1-28 TEL0586-43-1023(火～土 10時～17時)
- 名古屋市剣道連盟 〒454-0022 名古屋市中川区露橋1-31-20 TEL052-361-8073(月水木金 10時～16時)
- 尾南地区剣道連盟 〒479-0862 常滑市小倉町5-48 山田様方 TEL0569-42-3895
- 西三河 剣道連盟 〒471-0813 豊田市野見山町3-78-14 手嶋様方 TEL0565-89-3274
- 東三河 剣道連盟 〒440-0071 豊橋市北島町字北島132 牧野様方 TEL0532-52-3796

万が一、感染者が出た場合は、ただちに所属地区剣道連盟に報告すること。  
所轄の保健所にも連絡をすること。  
各地区剣道連盟は愛知県剣道連盟に報告すること。